

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

事務事業名		県民交通災害共済事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	040301000705
		総合計画の施策名				単独/補助	補助	所属課	030401
		0403 交通安全対策の推進				主要事業	対象外	生活安全課	
政策体系		政策名				市長マニフェスト	対象外		
		04 快適で潤いのある生活環境づくり				未来PJ事業	対象外	グループ	
		03 交通安全対策の推進				合併建設計画事業	対象外	生活安全	
		01 交通安全意識の向上				事業期間			
		基本事業名				単年度繰返し (年度~)			
財務会計上の位置付け		予算科目				一般会計		交通安全対策事業	
		会計	款	項	目	事業	細	期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
		01	02	01	11	01	00		
法令根拠		県民交通災害共済条例(組合条例)							

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】</p> <p>市民が安心して安全に過ごせるまちづくりのため、桜川市内在住者が交通による災害を受けた場合の救済を目的とする共済制度である。茨城県市町村総合事務組合と市町村で業務を行う。</p> <p>職員が事務組合の併任職員として委任され、加入事務、収納給付事務を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 加入推進のチラシ配布 加入申し込み業務 見舞金請求業務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 加入推進のチラシ配布 加入申し込み業務 見舞金請求業務 	加入者	人	1,372.00	1,403.00	1,428.00	1,428.00	1,428.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
市民	人口	人	43,190.00	42,444.00	42,048.00	41,652.00	41,256.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
安い加入金で交通災害の被害者を救済する。	見舞金給付金請求件数	件	12.00	12.00	10.00	10.00	10.00
	見舞金給付金額	千円	1,130.00	850.00	800.00	800.00	800.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定総投入量		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	96	98	100	100	100	100
		一般財源	千円	-96	-26	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	72	100	100	100	100	
人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人			
	述べ業務時間	時間	160.00	108.60	105.00	100.00			
	人件費計(B)	千円	464	315	305	290			
トータルコスト(A)+(B)		千円	464	387	405	390			

事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)			28年度事業費 予算(千円)		
	11 需用費	72		11 需用費	100	
	合計	72		合計	100	

(4) 当該年度の実施内容		28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する				
<ul style="list-style-type: none"> 主要事業 市長マニフェスト 未来PJ事業 合併建設計画事業 				

事務事業名	県民交通災害共済事業	事務事業No.	40301000705	所属課	生活安全課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 経済の高度成長に伴い、昭和30年代後半から自動車の交通量が急速に増大し、それに伴い交通事故が増加したため、その被害者の救済措置として始まった。 昭和43年の「茨城県県民交通災害共済組合」発足以来事業を開始し、現在に至っている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 加入者が年々減少しているにもかかわらず、見舞金請求は増えていることから県でもいろいろ検討されている。当市でも増減はあるものの窓口に来た市民からは、「これに入ると安心。お守り代わり」という声も聞かれる。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 安心で安全に過ごせるためには、万が一の交通災害に備えた保証が必要である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 安価な掛け金で、市民が安心して加入して加入しているので妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 加入者が年々減少しているため、加入促進するための事業(啓発、広報)を展開すれば、加入増加が期待できる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 安価な掛け金で、最低限の保証を見舞金として給付しているため、頼りにしている市民がいる。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 県事業を各市町村が行っているため統廃合はできない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 啓発だけの事業費であり、削減すると加入減少も見込まれる。事務については人件費のみであり削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全市民を対象としているので、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 「入ってよかった」と事故に遭い見舞金請求申請に来る市民から聞かれる言葉である。このことから、県民交通災害の必要性を広めることが大切である。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 2月~5月までは申請が多いため、申請事務、お金の入金や管理が事務的に負担が大きい。また年度末と重なることから、他の市町村でも加入開始時期を9月に変更すれば事務的にも軽減されるのではと会議の中でも出ている。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) B: 継続(改革改善を行う) C: 終了、廃止、休止 D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---